

# 鯨ヶ沢漁業用海岸局

## 1. 事業の目的

試験船、取締船並に一般漁船との間に漁業指導監督通信を行うことにより、沖合漁船の人命財産の保全と航行の安全、海難の防止を主とし、併せて外国200海里海域及びその他の海域の操業秩序の維持と、漁海況情報提供により、水産行政および水産資源研究の充実を図り漁業生産の安定と効率化を図る。

## 2. 事業の内容

### (1) 実施期間

平成2年4月1日～平成3年3月31日

### (2) 交信海域

北部太平洋海域 三陸沿岸並びに沖合海域

北海道沿岸海域 青森県沿岸海域及び日本海全海域

### (3) 担当者

局長 目時利悦

総括主査 工藤 衛

総括主査 大友 守

### (4) 取扱通信種別

#### 1. 漁業指導監督通信

- 試験船及び取締船との通信
- 外国200海里内操業の入域ならびに操業位置、漁獲報告通信
- 漁海況情報収集並に速報通信
- 調査協力漁船との漁海況情報収集通信

#### 2. 気象及び航行警報等の周知通信

#### 3. 遭難、緊急、安全の通信

#### 4. 一般漁業通信

#### 5. その他の通信

### (5) 通信方式

#### 1. SSB無線電話プレストーク方式通信

#### 2. 気象、航路警報及び漁海況情報のFAX受信

#### 3. 遭難自動受信機による24時間常時聴守

#### 4. 選択呼出装置による連絡設定

### 3. 事業の成果

無線通信による気象情報及び航路に関する警報等を周知提供することにより海難を抑止でき、また漁海況情報を迅速に速報することにより出漁漁船の漁獲の効率的生産を向上させた。

又、調査協力漁船からの無線による漁海況情報事業の強化により水産研究機関のスルメイカ子報事業等の円滑化と資源究明に大きく貢献した、また外国200海里域内操業船の入域及び出域と操業位置及び、漁獲報告により出漁漁船の安全操業に寄与し、さらに資源管理に関する各種の指導通信並びに情報通信により水産行政の遂行に貢献した。

#### 通信取扱実績

月	指導通信	気 象	漁業通信	事 故	保 安	相手局	通 信 時 間
4	646 <sup>件</sup>	88 <sup>件</sup>	486 <sup>件</sup>	0 <sup>件</sup>	0 <sup>件</sup>	245 <sup>局</sup>	460時20分
5	917	94	742	0	0	415	475 : 20
6	1,236	94	466	0	11	310	469 : 50
7	1,263	112	449	1	8	193	490 : 40
8	1,108	98	477	1	4	218	472 : 20
9	910	87	738	0	4	293	460 : 00
10	847	95	886	0	2	375	472 : 20
11	973	103	642	1	3	219	478 : 10
12	520	98	686	0	1	177	475 : 20
1	453	106	671	0	4	172	475 : 20
2	420	90	525	0	1	125	429 : 20
3	489	110	552	0	6	128	475 : 20
合 計 A	9,782	1,175	7,320	3	44	2,870	5633時10分
前年度 B	9,689	1,051	7,762	0	102	3,562	5592時20分
A / B	100%	111%	94.3%	0%	43.1%	80.5%	100%

漁種別所属船隻数

漁種	併設船	電話船	合計	前年度	備考
官庁船	3	3	6	6	
沖合底曳		11	11	11	
イカ専業		36	36	40	
マス兼業		19	19	19	
イカその他		28	28	30	
その他		6	6	7	
合計 A	3	103	106	113	
前年度 B	3	110	113	118	
A / B	100%	93.6%	93.8%	94.1%	

地区別屯数別所属隻数

地区	10吨以下	10~20	20~30	30~50	50~100	100以上	合計
岩崎	0隻	1	0	0	1	0	2隻
深浦	1	4	0	2	1	0	8
鱒ヶ沢	1	5	0	7	0	0	13
下前	19	14	2	0	2	0	37
小泊	13	10	1	2	1	0	27
相内	0	2	0	0	0	0	2
三厩竜飛	1	7	0	0	0	0	8
青森	0	0	0	0	3	0	3
官庁	0	1	1	1	1	2	6
合計 A	35	44	4	12	9	2	106隻
前年度 B	38	47	4	12	10	2	113
A / B	92%	93.6%	100%	100%	90%	100%	93.8%